



遊座大山 商店街振興組合 (板橋区)



緊急事態宣言に素早く対応 コロナ禍で苦しむ飲食店を地域通貨で応援

住民参加のイベントと ハード整備が充実した商店街

東武東上線大山駅から山手通りまで全長550メートル、令和2年に70周年を迎えた遊座大山商店街。商店街に面して区立文化会館や都税事務所があるほか、板橋区役所からも程近く、区内有数の規

模の商店街としていつも多くの来街者で賑わっている。

「遊座」という商店街名は地域住民が集い、遊べる場所があることから生まれた。ジャズやハワイアのコンサート、板橋エイサー等、多様なイベントを実施。平成11年には、江戸時代に使われた小判を

模した地域通貨「遊座小判」を制作。商店街では現在も小判1枚が500円として飲食や買い物に使うことができる。

また、ハード整備の先進商店街としても知られ、防災型街路灯やアーチ、バリアフリー歩道が整備されている。他に先がけてLED

照明を導入した際には、多くの商店街関係者が視察に訪れた。

「遊座小判」で 商店街の飲食店を応援

令和2年4月の緊急事態宣言が出された翌日から、商店街では感染予防策を実施。ステイホーム



甘楽茂 専務理事



本多清司 理事長



吉田和雄 副理事長



鈴木泰彦 副理事長



本物に近い重量感



1枚500円として使える「遊座小判」



毎年発行している
ショップガイド



小判が使えるお店もわかる遊座大山商店街マップ

⑦ 遊座大山商店街振興組合

店舗数 148 店舗
<http://youza.jp/>

●活用した事業
 商店街リーダー実践力向上塾

を呼びかける横断幕や街路灯にス
 テッカーを掲げ、店舗への巡回指
 導を徹底し、甘楽茂専務理事は公
 的支援をネットで情報発信した。
 迅速な対応が高く評価され、マス
 コミにも取り上げられた。

営業自粛で影響を受けている飲
 食店を支援することが一番の課題
 と考え、商店街リーダー実践力
 向上塾のモデル商店街として参加
 した。

コロナ禍により、商店街のイベ

ントが中止や延期となる中、リー
 ダー塾では飲食店を応援する事業
 を企画。鈴木泰彦・吉田和雄副
 理事長が、商店街にある「遊座小
 判」の活用を発案。理事会の承認
 を得て「小判で応援！遊座大山商
 店街加盟の飲食店緊急応援キャン
 ペーン」を実施した。

このキャンペーンの主旨は、商
 店街独自の地域通貨である「遊座
 小判」を地域住民に買ってもらい、
 飲食店で利用してもらうことで、

商店街全体にお金を循環させるこ
 とにある。小判は現金と等価交換
 で、プレミアムが付かないにも関
 わらず、令和2年10月の販売開始
 とともに購入希望が続出。令和3
 年1月中旬までに1,082枚(約
 54万円)を販売。お店では466
 枚(約23万円)の小判が使われた。
 商店街を利用する人々の善意が形
 を変えて商店街の飲食店を応援す
 ることにつながった。

**地域住民に寄り添い
 活気ある商店街を取り戻す**

コロナの対応に追われた本多清
 司理事長は、「飲食店応援キャン
 ペーンは好評だったので継続する
 方法を検討している。飲食店ばか
 りでなく、商店街全体へと目を向
 けていく必要がある。コロナに負
 けず「いいですね。この街」と言
 われるよう、お客様に喜んでもら
 えることを行っていきたい。」と
 語った。